

令和7年4月23日（水）

令和7年度第1回定例教育委員会

## 会議録

我孫子市教育委員会

- 1 招集日時 令和7年4月23日（水）午後2時00分
- 2 招集場所 教育委員会 大会議室
- 3 出席委員 教育長 丸 智彦 委 員 村松 弘康  
委 員 新山 訓代 委 員 中村 通宏  
委 員 横山 春奈
- 4 欠席委員 なし
- 5 出席事務局職員
- 教育総務部長 佐藤 和文 生涯学習部長 菊地 統  
生涯学習部次長兼文化・スポーツ課長兼白樺文学館長兼杉村楚人冠記念館長 辻 史郎  
教育総務部次長兼学校教育課長 山崎美弥子
- 総務課長 高橋 純
- 教育相談センター所長 遠藤 美香
- 指導課長兼小中一貫推進室長 鈴木 美枝
- 少年センター長 佐藤 友一
- 生涯学習課長 齊藤 幸弘 生涯学習課主幹 段林 恭子  
鳥の博物館長 大山 純子 図書館長 中山 千草
- 学校教育課主幹 齊藤 優 学校教育課主幹 蜷原 弘治
- 指導課課長補佐 塚田 悠平
- 6 欠席事務局職員 なし

午後2時00分開会

○丸教育長 ただいまから令和7年度第1回定例教育委員会を開会します。

---

会議録署名委員指名

○丸教育長 日程第1、我孫子市教育委員会会議規則第31条の規定により、会議録署名委員を指名します。横山委員にお願いします。

---

議案第1号

○丸教育長 日程第2、議案の審査を行います。

議案第1号、我孫子市教育支援委員会委員の委嘱について、事務局から説明をお願いします。

○遠藤教育相談センター所長 議案第1号、我孫子市教育支援委員会委員の委嘱についてです。

提案理由は、我孫子市教育支援委員会委員の任期満了に伴い、我孫子市教育支援委員会条例第3条第2項の規定により我孫子市教育支援委員会委員を委嘱するため、提案するものです。

委嘱期間は、令和7年4月1日から令和9年3月31日まで、委嘱年月日は、令和7年4月1日です。委嘱人数は、12名です。

我孫子市教育支援委員会委員候補者を御説明します。第1号委員（医師代表）は継続で再任です。第2号委員（小学校及び中学校の教育職員）については、我孫子第一小学校の八巻貴子教諭は再任、根戸小学校の堀部智美教諭と湖北中学校の鶴田真一郎教諭は新任となっています。第3号委員（児童相談所職員）も再任です。第4号委員（特別支援学校等職員）については、松戸特別支援学校の校長が変わったことにより、後任の山澤光史校長が新任となっています。第5号委員（福祉関係職員）は再任です。第6号委員（教育委員会事務局職員）

は、学校教育課主幹の齊藤優が新任となっています。以上です。

○丸教育長 ありがとうございました。以上で説明が終わりました。

これより質疑を許します。質疑があれば挙手をお願いします。

——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。議案に対する質疑を打ち切ります。

---

○丸教育長 これより採決します。

議案第1号、我孫子市教育支援委員会委員の委嘱について、原案に賛成の委員は挙手願います。

(賛成者挙手)

○丸教育長 ありがとうございます。挙手全員と認めます。よって、議案第1号は可決されました。

---

## 議案第2号

○丸教育長 続きまして、議案第2号、我孫子市教育支援委員会専門委員の委嘱について、事務局から説明をお願いします。

○遠藤教育相談センター長 議案第2号、我孫子市教育支援委員会専門委員の委嘱についてです。

提案理由は、我孫子市教育支援委員会専門委員の任期満了に伴い、我孫子市教育支援委員会条例第7条の規定により我孫子市教育支援委員会専門委員を新たに委嘱するため、提案するものです。

委嘱期間は、令和7年4月1日から令和8年3月31日まで、委嘱年月日は、令和7年4月1日です。委嘱人数は、31名です。

我孫子市教育支援委員会専門委員候補者を御説明します。1番から19番までの小中学校の専門委員については、特別支援学級担任若しくは特別支援教育

コーディネーターの方を候補者として挙げています。20番、我孫子特別支援学校の専門委員は、再任です。21番から26番までのこども発達センターの専門委員については、就学担当の方を候補者として挙げています。27番から31番までの教育相談センターの専門員については、心理相談員と言語聴覚士の方を候補者として挙げています。以上です。

○丸教育長 ありがとうございました。以上で説明が終わりました。

これより質疑を許します。質疑があれば挙手をお願いします。

——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。議案に対する質疑を打ち切ります。

---

○丸教育長 これより採決します。

議案第2号、我孫子市教育支援委員会専門委員の委嘱について、原案に賛成の委員は挙手願います。

(賛成者挙手)

○丸教育長 ありがとうございます。挙手全員と認めます。よって、議案第2号は可決されました。

---

### 議案第3号

○丸教育長 続いて、議案第3号、我孫子市学校給食調理業務委託の事業者選定委員会委員の委嘱について、事務局から説明をお願いします。

○山崎学校教育課長 議案第3号、我孫子市学校給食調理業務委託の事業者選定委員会委員の委嘱についてです。

提案理由は、我孫子市学校給食調理業務委託の事業者選定委員会の一部委員が任期途中の人事異動により欠員となるため、我孫子市学校給食調理業務委託の事業者選定委員会設置規則第2条第2項の規定により我孫子市学校給食調理

業務委託の事業者選定委員会委員を委嘱するため、提案するものです。

現在の我孫子市学校給食調理業務委託の事業者選定委員会委員の任期は、令和6年10月1日から令和7年9月30日までの1年となっていますが、委員14名のうち4名が、令和7年4月1日付けの人事異動により欠員となるため、令和7年4月1日から9月30日までを残任期間として委嘱するものです。

第2号委員については、学校給食調理業務委託の選定を行う学校として、湖北小学校及び布佐小学校の校長に欠員が生じるため、当該校の校長である加藤理巳氏及び太田貴之氏を候補者としています。また、第3号委員の教育総務部長として、佐藤和文、第4号委員の学校教育課長として、私、山崎美弥子を候補者としています。参考まで、8ページについては、御承認いただいた場合の委員の名簿を掲載しています。

なお、令和6年9月27日開催の第9回定例教育委員会秘密会に上程した令和7年10月1日委嘱に係る議案については、公平公正な選定を実施するために、事業者との関係性上、非公開の取扱いとするため、秘密会での対応としましたが、事業者選定が終了したことにより、現在は会議録を公開しています。

今回の委嘱については、前任者の残任期間についての委嘱となることから、後任者の氏名を公表することは問題ないと判断し、公開対象の案件として本会の議題に上程しています。任期満了に伴う令和7年10月1日からの新たな委嘱については、非公開の取扱いとして対応する予定となっています。以上です。

○丸教育長 ありがとうございました。以上で説明が終わりました。

これより質疑を許します。質疑があれば挙手をお願いします。

——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。議案に対する質疑を打ち切ります。

---

○丸教育長 これより採決します。

議案第3号、我孫子市学校給食調理業務委託の事業者選定委員会委員の委嘱について、原案に賛成の委員は挙手願います。

(賛成者挙手)

○丸教育長 挙手全員と認めます。よって、議案第3号は可決されました。

---

#### 議案第4号

○丸教育長 続きまして、議案第4号、我孫子市湖北地区公民館指定管理者選考委員会委員の委嘱について、事務局から説明をお願いします。

○斎藤生涯学習課長 議案第4号、我孫子市湖北地区公民館指定管理者選考委員会委員の委嘱についてです。

提案理由です。我孫子市湖北地区公民館指定管理者選考委員会の一部委員から、任期途中において、別の職員への委員変更の申出があったため、我孫子市湖北地区公民館指定管理者選考委員会要綱第3条第2項及び第4条第1項の規定により我孫子市湖北地区公民館指定管理者選考委員会委員を委嘱するため、提案するものです。

10ページ、委嘱期間は、前任者の残任期間である令和7年4月1日から令和8年9月30日となります。委嘱年月日は、令和7年4月1日です。候補者については、第3号委員（市の職員）として、市民協働推進課の課長補佐である辻和尊を委員として推薦します。11ページについては、参考までに委員名簿を付けさせていただきました。以上です。

○丸教育長 ありがとうございました。以上で説明が終わりました。

これより質疑を許します。質疑があれば挙手をお願いします。

——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。議案に対する質疑を打ち切ります。

---

○丸教育長 これより採決します。

議案第4号、我孫子市湖北地区公民館指定管理者選考委員会委員の委嘱について、原案に賛成の委員は挙手願います。

(賛成者挙手)

○丸教育長 挙手全員と認めます。よって、議案第4号は可決されました。

---

### 議案第5号

○丸教育長 続いて、議案第5号、財産の取得について、事務局から説明をお願いします。

○鈴木指導課長 議案第5号、財産の取得についてです。

提案理由は、全ての児童生徒が個別にコンピュータ端末を利用できる環境を活用し、AIを使用した個別最適な学習、ネットワークを使用した協働的な学習等を実現するための学習支援ソフトウェアの購入に向け、議会に上程されるよう、市長に依頼するものです。

取得する財産は、学習支援ソフトウェア（2年6月間使用権）5万4,860ライセンスです。ライセンス数は、ひと月ごとのライセンスの延べ数になっています。取得価格は、2億426万1,200円。こちらは、システム環境の構築費用などを含みます。取得先は、NECフィールディング株式会社、NECキャピタルソリューション株式会社、株式会社EDUCOMの3者で構成する「第2次教育ICT基盤FILDG・NECAP・EDUCOMコンソーシアム」です。以上です。

○丸教育長 ありがとうございました。以上で説明が終わりました。

これより質疑を許します。質疑があれば挙手をお願いします。

○村松委員 取得先の構成員3者について、どのような構成になっているのか、それぞれ役割などがあるのでしょうか。

○鈴木指導課長 株式会社E D U C O Mは、端末機器の部門、校務支援ソフトの部分を担っており、3者それぞれの部分で1つのコンソーシアムを作っているところと契約しています。

○丸教育長 補足があれば、塙田指導課長補佐、お願ひします。

○塙田指導課長補佐 今回の第2次教育ICTについて、令和6年度に端末の調達として、児童生徒1人1台端末や指導者用端末、その他ネットワークの更新、校務支援システム、学習支援システムと一体的なサービス提供型の業務委託としてプロポーザルを行いました。そのうち、今回の学習支援ソフトウェアと次の議案第5号の内容になりますが、校務支援システムについては、補助金の対象になるということで、議案として上程するものとなります。業務範囲が広いため、事業者についても1者ではなかなか対応できないということから、NECフィールディング株式会社が代表事業者となり、契約、主に営業的な部分と運用保守をNECフィールディング株式会社が担い、機器の調達をNECキャピタルソリューション株式会社、先ほど鈴木課長からも説明がありましたが、校務支援システムの部分を株式会社E D U C O Mが担うということで、3者で構成したコンソーシアムとして契約するものです。以上です。

○村松委員 よく分かりました。ありがとうございます。

○丸教育長 ほかに御質問等ありますでしょうか。

よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。議案に対する質疑を打ち切ります。

---

○丸教育長 これより採決します。

議案第5号、財産の取得について、原案に賛成の委員は挙手を願います。

(賛成者挙手)

○丸教育長 挙手全員と認めます。よって、議案第5号は可決されました。

---

## 議案第6号

○丸教育長 続いて、議案第6号、財産の取得について、事務局から説明をお願いします。

○鈴木指導課長 議案第6号、財産の取得についてです。

提案理由は、校務を効率的に処理し、教職員の負担を軽減することにより、教職員が児童生徒と向き合う時間を増加させ、及び教育の質を向上させるための校務支援システムの購入に向け、議会に上程されるよう、市長に依頼するものであります。

取得する財産は、校務支援システム（2年6月間使用権）、177ライセンスです。ライセンス数はひと月ごとのライセンスの延べ数です。取得価格は、7,238万8,800円、こちらにはシステム環境の構築費用、データ移行費用を含みます。取得先は、NECフィールディング株式会社、NECキャピタルソリューション株式会社、株式会社EDUCOMの3者で構成する「第2次教育ICT基盤FILDG・NECAP・EDUCOMコンソーシアム」です。以上です。

○丸教育長 ありがとうございました。以上で説明が終わりました。

これより質疑を許します。質疑があれば挙手をお願いします。

——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。議案に対する質疑を打ち切ります。

---

○丸教育長 これより採決します。

議案第6号、財産の取得について、原案に賛成の委員は挙手を願います。

(賛成者挙手)

○丸教育長 ありがとうございます。挙手全員と認めます。よって、議案第6

号は可決されました。

---

## 諸 報 告

○丸教育長　日程第3、諸報告を議題とします。

事前に配付された事務報告、事務進行予定資料などに補足する説明や追加する事項が全部で5点ございますので、そちらの説明から始めます。

1点目、我孫子市文化財報告第23集「志賀直哉がみた千葉県・我孫子の『スペイン・インフルエンザ』」の刊行について、辻文化・スポーツ課長、お願いします。

○辻文化・スポーツ課長　今から107年前の大正7年から大正10年までの3年間、世界で多くの死者を出した感染症「スペイン・インフルエンザ」が千葉県我孫子市でも驚異を振るったとされています。「スペイン・インフルエンザ」は、日本全国で死亡者が38万人にも上ったにも関わらず、残されている資料は極めて限定的で、研究もあまり進んでいません。その一方で、この時期、白樺派の主要メンバーである作家の志賀直哉は我孫子市に在住し、「スペイン・インフルエンザ」に関する小説、「流行感冒」「十一月三日午後のこと」「雪の日」「雪の遠足」の4本を執筆しています。志賀は、これらを日記として書いたと述べており、小説ではありますが、歴史資料として非常に貴重であると考えます。

今回の報告は、新聞報道と国や県の統計資料を精査し、千葉県における「スペイン・インフルエンザ」の感染拡大と死者の動向を再現し、その上で志賀の小説を通じて、我孫子市でどのようなことが起きていたのかを確認することを目的としました。

まず、1ページ下段から7ページが当時の千葉県の行政や交通産業教育などの状況です。インフルエンザは、「密閉・密集・密接」の3密によって感染拡大

すると言われていますが、当時の千葉県は、既に鉄道によって東京と結ばれ過密した都市部から患者が流入しやすく、軍隊の駐屯地や製糸工場、学校などは3密状態で、パンデミックが非常に起こりやすい条件が揃っていました。

7ページから17ページが当時の新聞報道の様子です。「東京日日新聞 房総版」を中心に資料を集めましたが、10ページには、我孫子の製糸工場での集団感染が報じられています。有効なワクチンがない状況で講じられた対策として、マスク着用の啓発ポスターがあります。

また、14ページには、迷信から仏や神に祈って感冒避けをする人たちの姿が描かれています。

15ページには、東京の火葬場が処理能力を超えたため、千葉県への協力要請があったことが報じられています。

17ページから21ページが統計資料です。新聞報道と合わせて復元したグラフが21ページの図5になります。3回の流行の波に襲われたという状況がよく分かると思います。

21ページから29ページは、志賀の4本の小説で読み取れる我孫子の状況です。

22ページが代表的な小説「流行感冒」の記述になります。現在の第一小学校の運動会や製糸工場でのパンデミック発生について触れられています。

30ページから32ページが結論となります。千葉県は、多数の感染者と死亡者を出した東京からの人流・物流が盛んであったため、3年間で死者、6,600人余りを出しただけではなく、肺炎や当時、国民病と呼ばれた結核を悪化させて亡くなる方が続出しました。その一方で、地域のイベントや興行などは中止されることはありませんでした。インフルエンザの対処法としては、ウイルスが技術的に検知できない中で開発されたワクチンは、全く有効ではなく、「うがい・手洗い・マスク」による予防措置にとどまらざるを得ませんでした

た。粗悪なマスクの流通や根拠のない神仏への祈願など、コロナ感染の際の騒動を知る我々には、決して笑えることができない状況がありました。

我孫子でも製糸工場における集団感染と死亡者の発生、軍隊の演習における患者の発生などが起こっていることが判明しました。千葉県では「スペイン・インフルエンザ」の総合的な研究は進んでいませんが、本研究が呼び水となり、個人の記録や日記などの資料収集が進むことを期待したいと思います。以上です。

○丸教育長 ありがとうございました。

御質問等ありましたらお願いします。

よろしいですか。

続きまして、2点目、我孫子通信 文人の郷だより18号の発行について、辻文化・スポーツ課長、お願いします。

○辻文化・スポーツ課長 白樺文学館、杉村楚人冠記念館年間パスポート購入者に送付する「我孫子通信文人の郷だより」ですが、第18回を2月末に配布しました。先月の定例教育委員会では報告案件が多かったため、ひと月先延ばしにしています。館長のテーマは「志賀直哉が好んだ水辺空間と住まい」、学芸員は「お酒」をテーマに執筆しています。これからもこの通信の刊行を通じて、学芸員が研究テーマを市民に分かりやすく伝えるスキルを向上させ、愛される白樺文学館、杉村楚人冠記念館となるように努力してまいります。以上です。

○丸教育長 ありがとうございました。

御質問等ありましたらお願いします。

部数的には何部ぐらい刷っているのでしょうか。

○辻文化・スポーツ課長 現在のところは、20部程度になっています。また、ホームページでも公開しています。

○丸教育長 ありがとうございます。ほかによろしいですか。

続きまして3点目、部活動地域展開について、辻文化・スポーツ課長、お願  
いします。

○辻文化・スポーツ課長 中学校の休日部活動の地域展開についてです。3月  
の定例教育委員会で説明した部活動の「地域移行」ですが、今年度から国の名  
称変更に合わせて「地域展開」と呼ぶこととなりました。

今年度の主な取組の内容についてです。令和6年度の実証事業を踏まえて全  
中学校にその範囲を拡大すること、それから様々な経験・体験を通じて子ども  
達の総合的な力を向上させるマルチ活動、令和8年度の完全移行を見据えた管  
理運営体制の検討などです。今年度も我孫子市部活動地域移行検討委員会にお  
いて、関係者の意見聴取をしながら進めていますので、進捗がありましたら、  
この場でも報告したいと考えています。以上です。

○丸教育長 ありがとうございました。

御質問等ありましたらお願いします。

よろしいですか。

続きまして、4点目、市制施行55周年記念事業 第17回楚人冠講座「楚  
人冠と芸術」について、辻文化・スポーツ課長、お願いします。

○辻文化・スポーツ課長 図書館と杉村楚人冠記念館の共催事業です。本館で  
開催中の春季企画展「楚人冠とアートー芸術家たちとの交流ー」に合わせて楚  
人冠が鑑賞した芸術作品や彼の芸術に対する考え方について、楚人冠の隨筆を  
基に、楚人冠記念館の学芸員が分かりやすく解説します。その際には、朗読ス  
タッフによる朗読もあります。以上です。

○丸教育長 ありがとうございました。

御質問等ありましたらお願いします。

よろしいですか。

○丸教育長 続きまして5点目、市制施行55周年記念事業「めるへん文庫感

謝祭」について、中山図書館長、お願ひします。

○中山図書館長 「めるへん文庫感謝祭」と題して、めるへん文庫の表紙絵・挿絵の原画展示とエッセイの朗読会を行います。

エッセイの朗読会は、めるへん文庫の表紙絵・挿絵を書かれた長縄えい子さんのエッセイ「老婆は一日にして成らず」の一部を図書館職員が朗読をさせていただきたいと思っています。

開催は、平日の金曜日になりますので、参加者がどのぐらい集まるか不安ですが、多くの参加者にお越しいただきたいと思っています。対象者は中学生以上、費用は無料です。以上です。

○丸教育長 ありがとうございました。

御質問等あればお願ひします。

長縄えい子さんのご遺族の方から何か借りている物はありますか。

○中山図書館長 特にお借りしている物はありません。

○丸教育長 長縄えい子さんの作品展示はしないってことですね。

○中山図書館 はい。作品展示は予定していません。

○丸教育長 分かりました。ほかによろしいですか。

それでは、これより事務報告に対する質疑に入ります。

質疑があれば挙手をお願いします。

○村松委員 6ページ、2番「中学校卒業式巡回」についてです。私は、湖北台中学校の卒業式に出席させていただいたのですが、当日、パトカーが回られていて、巡回だと思うのですが、何か報告が入っているのでしょうか。

○佐藤少年センター長 そちらの件に関しては、該当校の生徒と他校の生徒が行き会うかもしれないということで、予防的措置としてパトロールを強化していただいた次第です。

○村松委員 特に大きなトラブルや事件性などはなかったですか。

○佐藤少年センター長 はい。ありませんでした。

○村松委員 分かりました。ありがとうございます。

○丸教育長 ほかにございますか。

○横山委員 21ページ、(3)「清接庵茶会」(4)「旧井上家住宅 お茶会」についてです。「清接庵茶会」は、私もお邪魔させていただき、亭主役をしてくださった我孫子高校の生徒さんやご一緒した方々も美しくて素晴らしいお手前だったとすごく褒めていらっしゃったのですが、どのくらいお席が埋まったのでしょうか。

○辻文化・スポーツ課長 こちらについては、事前申込制になり、当日キャンセルした方もいらしたようですが、ほとんど埋まっていたという話は聞いています。

○横山委員 ありがとうございます。

○丸教育長 先ほど少年センターの件で、村松委員から質問がありましたが、6ページ、1番「街頭指導」の内容で、声掛け中学生について、白山中区が50人とすごく多いですが、これこそ何か問題があったのかどうか教えてください。

○佐藤少年センター長 この日は中学校の卒業式で、その後に、手賀沼公園の方に市内中学校の卒業生が男女合わせて50名程度集まっていたことから、指導員の方々に帰宅指導を促されたということになります。問題等はありません。

○丸教育長 ありがとうございます。

ほかに御質問等ありますでしょうか。

よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。事務報告に対する質疑を打ち切ります。

次に、事務進行予定について、質疑があれば挙手をお願いします。

——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。事務進行予定に対する質疑を打ち切ります。

次に、教育事業全般について、質疑があれば挙手をお願いします。

——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。以上で諸報告に対する質疑を打ち切ります。

---